

あそび

おもちゃ
ゲーム

第8回特別展

あそび・ゲーム・おもちゃ





木製玩具（日本玩具博物館蔵）

カタをつくる・ヒトカタにする

人形は、世界各地の民族にみられます。こどものおもちゃとして作られるものや、信仰や心のよりどころとして作られるものもあります。この展示では製作過程に注目し、「ぬって・つめて・くるむ」、「カタをぬく・カタをつくる」、「ほる・けずる」の3つの視点から人形などを紹介します。



人形（横浜人形の家蔵）



ままごと道具セット（日本玩具博物館蔵、左下）遠藤欣一郎氏蔵

ミニチュアの世界

こどもたちは「ままごと」や狩猟ごっこなどのごっこ遊びをとおして、自分の役割や住んでいる社会のルールなどを学んでいます。



エビ・カニゲーム（増川宏一氏蔵）



やじろべえ（日本玩具博物館蔵）

静と動のバランス

こまもやじろべえも催眠術の道具のようだという人がいます。こまは回転しながら、やじろべえは左右に揺れながら、バランスを保つおもちゃです。

盤上ゲーム・カード・サイコロ

人びとの交流や交易をとおして伝えられた盤上ゲームには、時間をへて、その地域や民族の間で独自の発達をとげたものがあります。また、カードやサイコロに使われる材料は、自然環境や生活に深く関わりをもっています。





さいころ (梅林勲氏蔵)



土人形 (日本郷土玩具館蔵)



木製玩具 (日本玩具博物館蔵)



やじろべえ (日本玩具博物館蔵)

平成6年7月26日(火)～8月28日(日)

特別展観覧料 (かっこ内は10名以上の団体の場合)

小学生・中学生 50 (30) 円

高校生・大学生 80 (50) 円

— 一般 250 (200) 円

特別展の開催にあたりまして、下記の機関と個人にご協力いただきました。

日本玩具博物館(兵庫県香寺町)、

日本郷土玩具館(岡山県倉敷市)、

遊戯史学会、横浜人形の家、梅林勲氏、

遠藤欣一郎氏、スチュアート ヘンリ氏、

増川宏一氏



こま (日本玩具博物館蔵)